

豊かで 住みよい 町づくり



2014



VoL.

52

議会だより

2014. 2. 1 発行

上勝

12月 定例会

2P 条例改正

3P 補正予算

5P 一般質問

7名が町政について質問

12P 研修報告

13P 新議長就任あいさつ
委員会構成

14P まちのようす

第5回 定例会

会期 11日
開会 平成25年12月10日
閉会 平成25年12月20日

主な議題

条例

税条例の一部を改正する条例
 例 質疑の結果 全員異議なく可決
 国民健康保険の一部を改正する条例
 全員異議なく可決
 介護保険条例の一部を改正する条例
 全員異議なく可決
 後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例
 全員異議なく可決
 月ヶ谷温泉交流施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
 質疑討論の結果 6対1で可決

文化財保護条例の一部を改正する条例
 質疑の結果 可決
 簡易水道給水条例の一部を改正する条例
 全員異議なく可決
 平成25年度一般会計補正予算（補正第5号）
 質疑討論の結果 5対2で可決

諮問

人権擁護委員の推薦につき意見を求めること
 全員異議なく可決

発議

公費負担にもとづく最低保障年金制度の創設を求める意見書
 全員異議なく可決
 年金2.5%引き下げの中止を求める意見書
 全員異議なく可決

介護職員の処遇改善を求める意見書
 全員異議なく可決
 安全・安心の医療介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める意見書
 全員異議なく可決

報告

寄付の申し立て 3件
 質疑の結果 全員異議なく可決

平成25年度国民健康保険（事業勘定）特別会計補正予算（補正第2号）
 全員異議なく可決
 平成25年度介護保険特別会計補正予算（補正第3号）
 全員異議なく可決
 町道路線の認定
 質疑の結果 全員異議なく可決
 町道路線の変更
 質疑の結果 全員異議なく可決

主な質疑

上勝町税条例の一部改正
明本議員 特別徴収対象年金所得者に対して合算額の1/2に相当とあるが具体的に
 は。

傍示税務課長

今までの徴収方法では本徴収の年間額を割ったものを4・6・8月に仮徴収していたが10・12・2月が少額となり、ムラが出ていた。これを4・6・8月徴収分を所得割額均等割額の1/2にするこ
 とによりムラのない徴収額となることである。

山田産業課長

3月末に、4月から上げると急な周知では、お客様がとまどうと思われる。四季美谷温泉・ゆうゆう館那佐については変更してゆくとのことである。

渡部議員 今回3%値上げということだが、また10%税率になると予測されるが、10%になってからも値上げがあるということか。

花本町長 条例改正は10%以内であるが、実務上は8%である。

主な討論

月ヶ谷温泉交流施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について

反対 明本議員

入浴料は比率からすれば低いと思う。料理の方が高い。周辺施設の状況を把握していない面もあり早々値上げすることには疑問があり、検討不足である。

賛成 渡部議員

消費税が上がれば、材料代も上がりやむを得ないことである。町民に入浴無料制度もありやむを得ない。

月ヶ谷温泉交流施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について
明本議員 この改正は増税による料金アップか。
山田産業課長 基本として税アップによるものだが一部について（パンガロー等）はそれだけではない。
明本議員 便上値上げでないか。なぜ、まだ上がってない時期に上げるのか。町外周辺施設の状況は。

平成25年度 一般会計補正予算 (補正第5号)

追加額 6,027万4千円

総額 30億3,413万5千円

質疑討論の結果 5対2で可決

主な補正内容

農林水産業費 森林境界杭打ち・図面作成 2,558万2千円
 (月ヶ谷・吉ヶ平 528ha 予定)

土木費 傍示下地橋架け替え調査 1,075万円

災害復旧費 萱小屋線・日浦線工事 550万円
 (護岸工事) (法面保護工事)

農林水産業費 治山事業排水工事 519万5千円
 (中山ファーム上、35m)

総務費 光ケーブル張替業務 336万6千円
 (谷口日浦間・檜原)

農林水産業費 (株)上勝バイオ実験ハウス建設 220万円
 (和良農産方式菌床栽培)

教育費 中学校理科教材 101万2千円
 (電子黒板・テレスコープ等購入)



岩本文昭 議員

本町における人、農地プランは問題も多いが青年就農給付金制度や認定農業者が受けられる資金の金利負担の軽減措置等、有利な補助制度を受けるため、プランが必要である。地域の中心となる経営体としてプラン

山田産業課長

今後のプラン、具体的な進め方は。

桑原企画環境課長

空き家バンクの整備、登録住宅にする施策は。

大北アートの支援策と駐車場の問題

見学者用の駐車場、バスの回転場が無い、どうするのか、町長の考えは。

花本町長

駐車場の建設を検討する。

花本町長

空き家有効利用のため空き家バンクの整備、登録住宅にする施策は。

桑原企画環境課長

空き家バンクの整備、登録住宅にする施策は。

桑原企画環境課長

空き家バンクの整備、登録住宅にする施策は。

大北アートの支援策と駐車場の問題

見学者用の駐車場、バスの回転場が無い、どうするのか、町長の考えは。

花本町長

駐車場の建設を検討する。

花本町長

空き家有効利用のため空き家バンクの整備、登録住宅にする施策は。

桑原企画環境課長

空き家バンクの整備、登録住宅にする施策は。

桑原企画環境課長

空き家バンクの整備、登録住宅にする施策は。

大北アートの支援策と駐車場の問題

見学者用の駐車場、バスの回転場が無い、どうするのか、町長の考えは。

花本町長

駐車場の建設を検討する。

花本町長

空き家有効利用のため空き家バンクの整備、登録住宅にする施策は。

桑原企画環境課長

空き家バンクの整備、登録住宅にする施策は。

桑原企画環境課長

空き家バンクの整備、登録住宅にする施策は。

大北アートの支援策と駐車場の問題

見学者用の駐車場、バスの回転場が無い、どうするのか、町長の考えは。

花本町長

駐車場の建設を検討する。

花本町長



瀬津野尻線改良工事

平成25年度 特別会計補正予算

質疑の結果 全員異議なく可決

国民健康保険 (補正第2号)

追加額 448万8千円
総額 2億8,624万4千円

主な補正内容

一般被保険者療養給付費 900万円
一般被保険者高額療養費 480万円

介護保険 (補正第3号)

追加額 400万円
総額 3億5,676万7千円

主な補正内容

居宅介護サービス費給付費 ショートステイ増加分 240万円
特定入居者介護サービス費 低所得者の給食代等 160万円

討論

一般会計・補正予算

反対 渡部議員

賛成 片山議員
賛成 武市議員

岩本議員 空き家活用整備設計委託の内容は。

桑原企画環境課長

温泉上、旧井岡家、購入内諾をもらっている。改築を建築士に指南してもらう。

武市議員 バイオ屋外の高圧遮断器の修繕はそんなに急を要するの。

山田産業課長

設置後21年経っているのに、いつ事故があってもおかしくない。

渡部議員 バイオが実験ハウスを予定している和良方式は、空気の清浄さが鍵を握っている。バイオ周辺の空気の菌数は調べたのか。

花本町長 環境の良い和良で作った強い菌床を購入して栽培するので問題ない。

松下議員 森林境界の明確化業務と国土調査の整合性は、金をたくさん使って二度手間になるのでは。

中原建設課長

民と民の境に杭を打つので国土調査の時に参考にして決めやすい。



明本 恵一 議員

明本

福祉の町づくり

高齢者の上診分を無料化に

問 消費税8%に上げ、年金は2・5%下る。低所得者の命を切り縮める。さしあたり上勝診療所分医療費を、高齢かつ低所得者に無料化すべき。年間178万円で出来る。

答 花本町長 未来世代に過剰負担がかかる。

問 不動産購入など無駄をはぶけば出来る。

答 花本町長 無料化は過剰診療となる。

問 裕福な町長には解らないのか、低所得者の命の問題だ。

答 花本町長 困った人は居る。困ったら相談窓口や生活保護もある。

高齢者、交通弱者の救援を

問 乗り合いタクシーは破たん。公費はいくら入れたか。

答 花本町長 500万円だ。雇用にも147万円補助した。

問 ガラ空き大型バスは無駄でないか。

答 花本町長 登下校4便はガラ空きでは無い。

問 登下校時のことを言っているのではない。ガラ空き時間帯はある。小型で乗り合いタクシーのような運行を提案したい。

答 花本町長 普通車にすれば合理的な場合もあるが、乗車人数を調べ検討しなければならぬ。

問 70歳以上の高齢者は無料バスを発行してもらいたい。

答 花本町長 代替バスは年間収入263万円だ。県補助440万円、町費1,723万円で運営している。バス料金200円は安い。無料バスの支給は難しい。

問 役場前バス停、早く出来ないか。

答 花本町長 調査の結果、役場や郵便局は14・5%の方が利用しただけ。他の人が不便になる。

タブレット端末 いまなぜ

問 タブレット端末の貸付け基準と利用方法は。また高齢者は置き去り、情報が不公平、不正確にならないか。

答 桑原企画環境課長

名を中心有機農業者、関係団体に配布し検証する。弁当配達サービスから始める。利用は無料とする。

問 個人会社に委託しているのでは。

答 桑原企画環境課長 昨年はいどりに委託した。7月に集落再生協議会を結成した。これに委託予定。

簡易水道について

問 町内の水道普及率は。

答 中原建設課長 人口比で51%だ。

問 槻地の人達は大雨で飲用水が濁る、水道がほしい。どう対応するか。

答 中原建設課長 地元より簡水の要望が出ている。水源など調査し財源など勘案して考える。

高鉾公民館 改善について

問 高鉾公民館は車椅子を二人がかりで階段を上げていく。スロープを設けるべきだ。

答 花本町長 県条例でスロープ勾配が規定されている。64メートルの長さが必要だ。他の方法で出来るか時間をかけて検討する。

他に、「3セク危機対応」についても町長に質問した。



片山 文昭 議員

いっきゅう茶屋周辺に有る町有地の整備計画は

片山

現地調査をし専門家の意見を聞き今後検討していく

企画環境課長

いっきゅう茶屋周辺に有る町有地の整備計画は進んでいるのか

問 いっきゅう茶屋周辺の町有地は、以前、除間伐、下草刈、作業道等整備されたが、その後において手入れされていない。整備する計画はあるのか。

答 桑原企画環境課長 美しい村づくりの研修の一環として現地調査を実施、全伐でなくグルーピングに残す伐採、他の植物と共存できる景観作り、自然木を活用した修景整備を基本に検討していく。

2020年にゴミゼロの取り組みは

問 現在の達成率は。

答 桑原企画環境課長 24年は、58・9%と少し向上している。雑紙を分別した人にポイントを付け、ポイントに応じ紙ひも、商品券が当たるなど取り組みをして、紙を資源化し達成率向上を図っている。

問 2020年にゴミゼロにするよう宣言しているが、達成に向けての取り組みは。

答 桑原企画環境課長 本年度に、ゼロ・ウェイスト推進計画素案策定、



資源化される雑紙

住民より意見聴収、27年度にゼロ・ウェイスト推進計画策定推進。

問 町民は、行政の指導により、34以上の分別をして、非常に努力をしている。行政側の取り組みが遅れているのではないか。

答 桑原企画環境課長 今回の計画が出来るのも、国の支援策、それから工夫する能力、いろん

高鉾公民館の新築計画は

問 一度新築を計画していたが、予算のめどが立たず新築を断念したが、

な角度から勉強していた。そう機運が高まったこと。町としても、熱心な方をゼロ・ウェイスト推進委員に推薦をして、今後の取り組みを進めていきたい。

一度新築を計画していたが、予算のめどが立たず新築を断念したが、



松下和照 議員

上勝町の減反政策の取組は 松下

中山間直接支払制度の活用等 産業課長

問 上勝町の減反規模と関係農家戸数はどのくらいか。

答 山田産業課長

配分基準単収換算面積は42・8haで栽培面積は33haとなっており、農家数187戸、減反は進んでいる。

問 農地の維持と農村環境をどう取組むのか。

答 山田産業課長

交付金事業で対応を進める。中山間直接支払制度の活用を図りながら、農村環境の維持につとめていくが、制度の改正もあり得る。

集落に関して不在者住宅の活用と支援策は

問 不在者（空屋）の総戸数はどのくらいか。

答 桑原企画環境課長

専任集落支援員による聞き取り調査（25年秋）では263戸で約30%不在家屋となっている。

問 Iターン者、移住希望者、長期滞在者数はどのくらいか。

答 桑原企画環境課長

平成18年～24年の7年間で大体133名、87世帯、平成24年度～25年度のみでは25名17世帯が移住。平成25年11月末で25名ほどの希望者の相談がある。長期滞在者は平成25年上半期で11名、短期滞在者は24年は94名、25年は188名となっている。空屋を活用して受入態勢が重要と考えている。

問 現在町内の1人住みの戸数はどのくらいか。

答 桑原住民課長

平成25年12月1日現在65歳以上の高齢者は143名で、80歳以上の高齢者世帯数は33世帯の方が該当する。

問 町営住宅には若い方の利用者が多く、一般不在者（空屋）住宅に関しては利用が少ない。住環境の支援策について考えているのか。

答 花本町長

支援策として購入又は改造の場合20万円の補助金が現在ある。町が空屋を購入し改造して貸す場合は、過疎債の適用ができるのでモデル的に数戸程度考えてみたい。今後地域地域離れた所も活性化するように考えていきたい。

問 持続可能なまちづくり基本条例及び施行規則制定に関連し町内にある倒壊寸前の物件について安全・防犯・美観面からも除却及び改善策等を考えているのか。

答 森副町長

空屋・廃屋等年々増加。防災・防犯・衛生・景観面からまたまちづくり基本条例、同施行規則においても所有者並びに自主組織と連携して所有者の了解を得て、除去等前向きに取組む方向で検討する。また、制度、財政面から積極的な対策を講じていただけよう国に対して要望中である。

事前防災の対応は

問 南海・東南海地震に備えて防災と当面の対応策は。

答 横山総務課長

非常食の備蓄はアルファ米80食、ビスケット320食、3日分100名分程で67%分の避難生活用の在庫がある。居住フライベイト用にダンボールで仕切る程度のもを44個程と44m程の四角いテントも準備している。小学校等に可能な避難所15箇所



消防出初式後の放水訓練

へり等の着陸可能な所が6ヶ所を指定、今のところ問題はないと考えている。

問 県の大地震発生時の想定で上勝町は住民の22%程の方の避難救援が必要となっているが。

答 横山総務課長

平成25年7月1日、防災計画の見直し改定業務が進行中、中身は災害応急対策、復旧計画、一般災害及び震災についての活動計画を策定中、それまでは現状ある防災計画に沿って対応する。



武市 功 議員

有害鳥獣対策 その成果は

武市

24年度、1,684頭捕獲の内、罨90%・猟銃10%

産業課長

問 捕獲等による有害鳥獣の駆除効果があらわれ、大変評価されているが、防護対策と捕獲成果と交付金状況は。

答 山田産業課長

24年度、防護柵設置2万3,950mで2,471万円、捕獲1,684頭で1,680万円、

（罨捕獲 1,456頭で1,445万円、猟銃捕獲228頭で235万円）25年度11月現在、防護柵2,500mで275万円、捕獲1,029頭で1,450万円（罨捕獲926頭で1,300万円、猟銃捕獲103頭で145万円）

問 大変ご苦労をいただいている一斉捕獲の成果と内容は。

答 山田産業課長

県の個体数調整捕獲緊急事業で実施、24年度・高鉾地区 9回、延べ154人、捕獲数17頭・福原地区 22回、201人、捕獲数18頭、狩猟経費として一回一人当たり7,000円の補助金プラス捕獲買い上げ金

第3セクター経営検討委員 公正さに欠けるのでは

問 第3セクター経営検討委員会委員がパイオの税理士、監査委員で構成されており、問題があるのでは。

答 山田産業課長

県市町村課第3セクターの担当者にお問い合わせた。検討委員会は個人の意

集落間連絡道 維持管理に助成金を

問 集落間の主要な連絡の小道や、高齢化により管理が行き届かない町道管理に助成措置を。

答 中原建設課長

集落間の里道支給については、現地調査の上、原材料など地域施工で支給を検討。地元管理の町道にあつては地域で管理が基本であるが、管理の見通しの立たない路線については調査の上、町の修路工等で対応。

大規模な山林地すべり等が、災害に強い自然環境整備を

問 自然な環境による防災力のある山づくりを景観整備と治山治水事業を関連させ、雑木林を混合させた山づくりを町独自の施策提言で事業展開は。

答 花本町長

本町においても広葉樹林化を推進している。広葉樹林化による景観および治水効果の向上は必要と考える。町内のほとんどが民有林、森林所有者の深い理解と協力が必要。

自然災害に強い山づくりは、重要課題と考えるが町独自補助の展開は、財政的に困難とされている。

国の環境林整備事業で、切り捨て間伐も容認され、広葉樹の植林、作業道整備が可能となっており雇用の場確保にも、広葉樹林化を希望される所有者は制度を利用いただきたい。



植林されたクヌギ林



渡部厚子 議員

渡部

柑橘搾汁は上勝優先を

産業課長

9割以上が上勝分だ

問 補助する苗木の選定はどのように決める。

答 山田産業課長

上勝町農業戦略会議等で決め、スタチ・ユコウ・ユズに補助をしている。一時ユコウが売れなくて補助の廃止を検討したが、改植、補植のために残してほしいとJAより要望があった。ユコウ消費拡大推進協議会、(株)いるどりに要望してユコウの消費拡大に取り組んでいきたい。

問 搾汁工場建設には上勝町が多額の補助を出した。上勝分の柑橘全量受け入れを終えてから町外分を受け入れるべきではないか。

答 山田産業課長

搾汁施設は東とくしま農協の施設なので町内分だけ先に引き取ることはできない。建設当初は全量引き取りをしていたが、ユコウは販売に苦慮しており、今は難しい。本年度の受入量は9割以上が上勝分となっている。

充実した教育環境で人口増加を

問 隠岐の海士町はあんなに不便なところでも塾

答 柏木教育長

あり、高校ありで移住者が増えている。イターン、Uターンを引きつけるためには子供の教育環境が重要だ。自然が十分に活用でき、学習・習い事もできるようにするべきだ。

答 柏木教育長

小中とも先生方は限られた時間でごんばつてくれ、成果も上がっている。

問 上勝の子供達が町外の子供と進学、就職で、いずれは競争する。同等に闘えるためには学習塾もあつていいのではないか。

受験対策は塾で

簡易コンロで対応できると思うが、今後検討したい。



取り残されたゆこうに雪

児童保育に台所を

問 児童保育は家庭と同じような環境で子供を預かるのが使命だ。施設の移転が当分ないなら、閉鎖されている風呂場を台所にして、子供達がおやつや簡単なごはんを作れるようにしてほしい。

答 柏木教育長

教職員も子供達の状況を十分理解して放課後学習をしたり、進路指導もよくやってくれている。

今の学校教育は受験対策でゆがめられている。分けた方が本当の教育ができる。町で塾の手助けはできないか。

答 花本町長

行政が学習塾をやるのは難しいが、町独自の教育プログラムで、地域おこし協力隊が塾をやってみる(2日間だけ)ということだ。将来的には民間事業者ベースでできればいいと思っている。

その他、図書館設立、町営住宅入居者の選定法基金の運用について質問した。



鹿島國男 議員

集落再生の補助金を各名に出しては

鹿島

事業提案の良いものに出す

町長

問 集落再生事業の内容に各名で行っている事業が含まれているので、もっと名に補助金を出しては。

答 桑原企画環境課長

基本的なことは、お金を使うのが良いということではない。あくまで支援である。25年度につい

ては、8割くらいは、何らかの形で集落でアクションを起こしている。例えば1Q運動会の費用を使っている。地域が使いやすい形を利用している。今後は、規則の関係の絡みがあるが、名の中で決定した再生プランに補助を出していこうと思っ

ている。

第3セクターについて

問 経営検討委員会の結果は、どの程度重要視しているのか。

答 花本町長

経営検討委員会の答申は、あくまで参考にする。議会議員の意見も聞いて判断する。

問 この間、シタケの先進地を視察してきたが、今度の計画案に賛成か否かと言われたら難しい。

答 花本町長

5億、10億円の提案なので、簡単に判断できるとは思っていない。要望があれば、勉強会や講師を呼ぶ、現地を見に行くなどする。



福川の集落再生の東屋

問 月ヶ谷温泉の湯量が少ないので、ボーリングをしては。

答 山田産業課長

平成15年度に、中山地区、平間地区周辺で調査をした。東とくしま農協の集落所周辺で良い結果が出たが、送水の経費が高額になり止めた。今後検討したい。

防護柵の個人への補助は

問 鳥獣害の防護柵の個人の追加は。

答 山田産業課長

現在まで、22集落、延べ88km完了した。まだ設置していない集落があるので、個人は難しい。集落単位で申請してくれれば、補正があればいいと思う。

ゆすみずがうらの段畑

愛媛県宇和島市遊子水荷浦

平成25年11月26日

総務委員会・産業建設常任委員会の合同視察が行われ、参加したので産建委員会を代表して報告します。

上勝町議会では11月26日宇和島市で重要な文化的景観に指定されている遊子水荷浦(ゆすみずがうら)の段々畑を視察しました。

ここは、四国西南に位置する宇和島市で戸数40戸、140人余りの集落です。写真に見られるように30度を超える急傾斜地に開墾された段畑は、ここも先祖の汗がしみ込んでいます。

ここは、上勝と違ってリアス式海岸に接し、青い海からすぐに段畑がけ上がり、人々は半農半漁の生活をして

います。段畑には水田は無く、昔はサツマイモを作って主食のように食べていました。これがあまり売れなくなり、ジャガイモを作るようになりました。品種は男爵一点ばりで、味が良いと全国に評判をよんで大変な人気だそうです。掘り上げて出荷するとたちまち売られるとか。一家族で20アール耕して年間売り上げは80万円くらいとか。でも売れ行きが良いので開墾がさらに進み



ジャガイモ畑

段畑は広がっています。兼業のもう一つの産業は昔は良かった真珠養殖が値下がりです。駄目になり、魚の養殖が盛んです。何をやっても長続きする農漁業は少なく、消費者の稚芽離れが進んでも、彩りや香酸柑橘をやっている上勝町は、まだ幸せであるうかと思ったりしました。時代に即して変化する消費者のニーズに 대응するには、謙虚な研究態度と大胆な方向転換も求められる時代であり、なかなか大変な事と感じた次第であります。(明本)

木屋旅館の再生とトランジット

愛媛県宇和島市

平成25年11月27日

上勝百貨店を運営している地職住推進機構が、町の依託を受けて計画を一つ、立てている。

コミュニケーション育成、移住推進、地場産業の振興を3つの柱に多目的施設的设计図を作った。この作成に大きく関わっているのが、トランジット(ホテル飲食店総合経営)という、町おこしに引っぱりだこの会社だ。

トランジットは何度か上勝を訪れ、ゼロウェイストの精神に感銘を受けて、超売れっ子の多忙の身で、上勝のために一肌脱ごうじゃないかと言ってくれた。

そのトランジットが関わって復活させたのが、宇和島の木屋旅館だ。経営が成り立たず解体の運命にあった商人宿を惜しみ、宇和島市民の要請で市が買い取り、改装した。その時に白羽の矢を立てられたのがトランジットである。

トランジットの人脈とセンスで木屋旅館は歴史と未来が同居する空間となり、多くの人を宇和島に引き寄せる結果となった。超新しいものをくっつけているの

に木屋旅館は登録有形文化財に指定されてしまった。

簡単な朝ごはんしか付いてなくて、結構不便、宿泊料も安くはない。なのに海外からも四国の果てのような地へわざわざ泊まりにやってくる。

このトランジットの魔法は上勝の計画にも効くのか。それを確かめに行っただが、納得することもあり、解らないこともあった。多分、それは私の年齢、そして視野の限界にある。逆に田舎の高齢者の私が全部を理解できるような、そこに何も新しいものはない。

新しい人達が計画し、新しい人達が集まる。私はトランジットに期待をかける。(渡部)



夜の木屋旅館

議長就任あいさつ



上勝町議会議長
片山文昭

平成26年の新年を迎え、よりお喜びを申し上げます。このたびの12月定例会におきまして、議員各位のご支援により議長の重席に就任することとなりました。私、浅学非才で、まだまだ経験不足でもあります。また、先輩議長の足跡を思う時、議長としての重責を感じ身の引き締まる思いでいっぱいです。皆様方の今まで以上のご指導を頂き、私も自己研鑽を図り、議会運営に当たり、町政発展に寄与していきたいと思っております。

今、上勝町は、少子高齢化に伴う限界集落、第3セクターの赤字等々問題が山積しております。町長はじめ理事者の方々、議員と共に勉強し、議論を重ね問題解決に向けて努力し、皆様方とともに、美しい活力ある町づくり、高齢者や子供達、孫達が安全で安心して住める町作りに取り組みで行きたいと思っております。今後においても、皆様方のご指導、ご鞭撻を願ひ申し上げ、簡単ですがご挨拶とさせていただきます。

上勝町議会正副議長・委員会等構成

●議長・副議長

議長 片山文昭
副議長 松下和照
(平成25年12月20日)

●議会広報調査特別委員会

委員長 岩本文昭
副委員長 渡部厚子
委員 鹿島國男
" 松下和照
" 武市功

●議会運営委員会

委員長 武市功
副委員長 鹿島國男
委員 松下和照
(平成26年1月11日)

●市町村合併研究調査特別委員会

委員長 鹿島國男
副委員長 渡部厚子
委員 明本恵一
" 藤田欣宏
" 片山文昭
" 松下和照
" 武市功
" 岩本文昭

●総務常任委員会

委員長 鹿島國男
副委員長 渡部厚子
委員 藤田欣宏
" 松下和照
(平成26年1月11日)

●産業建設常任委員会

委員長 武市功
副委員長 岩本文昭
委員 明本恵一
" 片山文昭
(平成26年1月11日)

●小松島市外三町村衛生組合議会議員

議員 片山文昭
(平成24年1月11日)
" 松下和照
(平成25年12月20日)

●議会選出監査委員

委員 鹿島國男
(平成24年1月11日)

まちのようす



雪の清水山を望む



成人式



上勝町どんど焼き (山の楽校)



消防団出初め式



広報委員紹介



徳島駅伝 勝浦コース力走

元日は全日本実業団駅伝があり、徳島から大塚製薬チームが参加、19位と健闘した。2日には、大学駅伝があり鍛え抜いた選手でも途中棄権の余儀無い結果になった大々学もでた。4日から第60回徳島駅伝記念大会も6日にかけて16郡市が参加。熱戦健脚を競った。45区間271・3km、全国一長い県内レースだ。我が勝浦郡も全区間一丸になり、タスキをつないだ。今年は、勝浦コースもあり地元への応援も盛り上がったし、たくさんの方々のサポートの方々の事も記憶したい。

勝浦郡は第1回から60回へとすべて参加、これこそが本場の駅伝だ。喝采を送りたい。私達も先輩の契いたタスキを絶やすことなく継承したいと思ひ新たに新年の決心です。

(松下)

編集後記



山のお正月